

# 「生活道路対策エリア」の取組事例(いわずみ いずみ 泉地区の事例)

**注意喚起路面表示  
(通学路注意)**

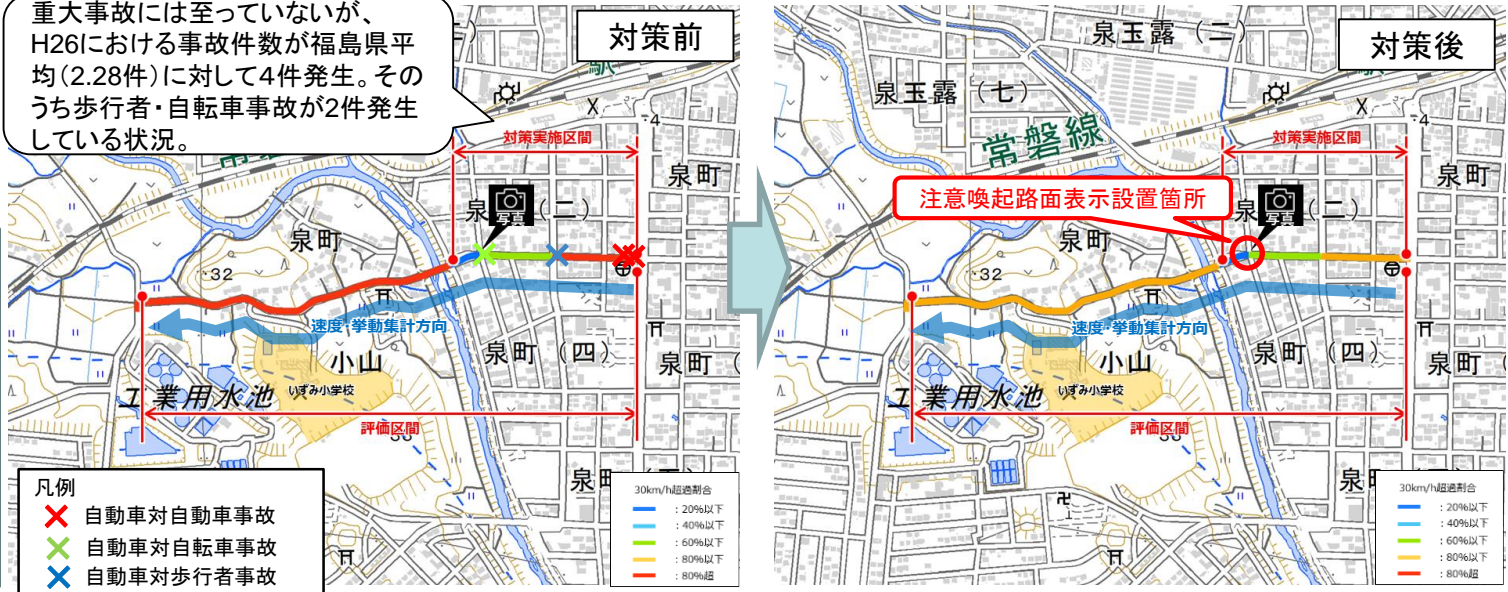
- 通学路合同点検を開催し、いわき市(道路管理者、教育委員会等)、警察署と協働で対策を検討
- 重点対策区間(泉地区)では、通学時間帯において、30km/h超過割合が高いため、速度抑制対策を実施(注意喚起路面表示)
- 評価区間(対策実施区間～小学校周辺)において、通学時間帯の30km/h超過割合が12.7%減少するなど、注意喚起による安全走行効果が確認される。

## 取組概要



重大事故には至っていないが、H26における事故件数が福島県平均(2.28件)に対して4件発生。そのうち歩行者・自転車事故が2件発生している状況。

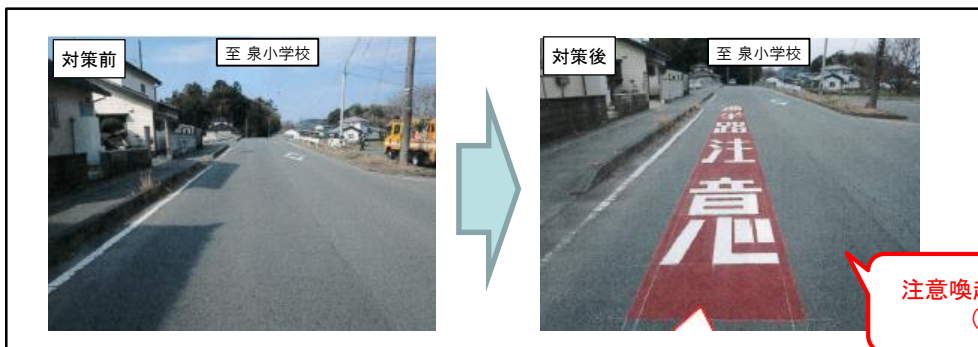
## ビッグデータ分析結果



- 学校側の指摘事項
  - ・通学時間帯は車両及び自転車の交通量が多く危険。
  - ・車の通行速度が高いため、速度抑制の対策を行って欲しい。

○取組経緯  
 H28.3: 「生活道路対策エリア」の登録  
 H29.5: 対策実施

## 整備状況



## 整備効果

|     | 30km/h超過割合 |        | 平均速度     |          |
|-----|------------|--------|----------|----------|
|     | 評価区間       | 対策実施区間 | 評価区間     | 対策実施区間   |
| 対策前 | 61.3%      | 49.1%  | 31.5km/h | 30.6km/h |
| 対策後 | 48.6%      | 35.5%  | 29.5km/h | 27.7km/h |

(▲12.7%) (▲13.6%) (▲1.0km/h) (▲2.9km/h)

【出典】1. 速度データ : 民間プローブデータ 【対策前】H28.9 (平日) 7時台、【対策後】H29.9 (平日) 7時台  
 2. 背景地図 : 国土地理院